

2/22

自分たちの学校を ふるさとの森に



安城西中学校で1500本植栽の会が行われました。国際生態学センター研究所長の宮脇昭氏による「森よ生き返れ」と題した講演の後、全校生徒が校庭へ。作業手順の説明を聞き、カシ・シイ・タブを中心に、安城の植生に合った苗木1500本を校庭の周囲に植えました。ふるさとの森は、未来を生きる人々へのすばらしいプレゼント。参加した生徒は、「土作りや事前学習を重ねてきました。大切に育てたいです」と話していました。



3/3

エール交換で元気倍増!



高棚小学校で、滋賀県の江崎栄子さんと地元のお年寄りを招いて「元気になろう! エール交換会」が行われました。つらい経験から立ち直った江崎栄子さんの手紙を道徳の時間に読んだのがきっかけとなり、6年生が交流を重ねてきました。歓迎の歌で感謝の気持ちを表すと、江崎さんも特技の腹話術を披露。子どもたちは楽しそうに鑑賞していました。

わがまち フォト グラフ



2/22

みんなの力で 油ヶ淵をきれいに

明和小学校の児童が油ヶ淵の清掃活動及び稚魚放流を行いました。全校生徒が参加し、堤防のごみ拾いをした後、漁業組合の協力により、コイやフナの稚魚約1万匹を放流。参加した児童は、「年3回ごみ拾いをしていますが、なかなかごみが減りません。もっときれいになってほしいな」と話していました。



2/28

根羽村から雪のプレゼント

茶臼山野外センターがある長野県根羽村から、安城保育園と桜町小学校に、合わせてダンブカー3台分の雪のプレゼントが届きました。園児たちは、園庭にできた雪の小山に大喜び。根羽村の助役さんらを招いて行われた贈呈セレモニーの後、あいにくの雨をもとめせず、雪合戦やそりで楽しそうに遊んでいました。



2/22

事故のない安全なまちに

文化センターマツパホールで安城市交通安全市民大会が行われました。約550人が参加し、「交通安全の街・安城」をめざして、年間活動の重点目標を確認。桜町小6年の畔柳まりえさんの意見発表などもあり、交通安全意識を高めることができました。



3/10

土器のかけらが大量に出土

小川町地内の下懸遺跡しもかけで実施されていた発掘調査の現地説明会が行われました。弥生時代～古墳時代、平安時代～鎌倉時代の遺構が発掘されましたが、中でも弥生時代終末期～古墳時代前期の遺構からは、大量の土器のかけらや銅でできたやじりが出土しました。

見学に来た人は、土器のかけらを見ながら、「古代の人は、これでどんなものを食べていたのかな」と興味深そうに話していました。

3/3

自分たちの力で 公園を作ろう

安城西部小学校に隣接する公園予定地で、明治用水を利用したせせらぎ水路やエントランス広場作りが行われました。

作業を希望する児童約90人とPTA約40人が参加。土やブロックを運んだり、水路を踏み固めたりする作業に汗を流しました。

子どもたちが計画段階から参画してきたこの公園は、13年度中に完成予定です。動植物の生態を観察する総合学習の場として、また地域のふれあいの場として活用されます。